

平成25年度

教科・科目名 科年組コース	国語総合 航空科2年	授業時間数/週	2時間
授業の目標	読む・書く・聞く・話すの4技能を身に付け、国語に関する能力や態度を養う。高校1年生の国語総合の学習を踏まえ、より高度な読解力・表現力・言語力を修得させる。		
授業内容の方法	毎回、授業で、漢字の小テストを実施する。「漢字ベーシック」のテキストより、口頭で8問出題し、専用のノートに解答を書かせる。教科書・学習課題ノートを使用しながら、学習を進めていく。		
評価方法について	試験 80点 評点20点		
使用テキスト 教科書 副教材	高校生の国語総合 明治書院 高校生の国語総合 学習課題ノート 明治書院 新国語便覧 第一学習社 新国語便覧準拠ノート 第一学習社 漢字ベーシック 明治書院 読書ノート		
年間授業計画	前期 4月 現代文 人間の哀しさ 5月 現代文 指 雨傘 表現 手紙を書く(近況報告と関連して) 6月 古文 古文を読むために 古文 竹取物語 かぐや姫の嘆き 7月 漢文 苛政猛於虎也 漢文 塞翁馬	後期 9月 現代文 コインは円形である 10月 詩 道程 汚れちまった悲しみに…… 11月 評論 不安をより強く生きる力とするために 12月 古文 徒然草 つれづれなるままに 丹波に出雲といふ所あり 1月 古文 伊勢物語 東下り 2月・3月 漢文 論語	

平成25年度 国語総合 航空科2年 年間学習計画

学期 月 配当時間	単元 項目 学習内容	学習のねらい ポイント	学習活動 (評価方法)
前期 4月 配当時間 6時間	・国語総合オリエンテーション ・現代文 人間の哀しさ	・国語総合を学ぶ基本姿勢を身に付けさせる。 ・随想の読み解き方について理解させる。	・国語総合ノートの取り方について理解する。 ・「人間の哀しさ」について考え、筆者にとっての「小説の意味」について考える。 (毎回漢字小テスト)
5月 配当時間 6時間	・現代文 指 雨傘 ・表現 手紙を書く	・小説の読み解き方について理解させる。 ・手紙の書き方について確認する。	・登場人物の心の動揺の理由を、場面の状況やその立場、境遇などとの関連で明らかにする。 ・作品のコンテキストを理解し、登場人物の心情が末尾において鮮やかに転換する部分を読み解く。
6月 配当時間 7時間	・古文 古文を読むために ・古文 竹取物語 かぐや姫の嘆き	・古文の言葉遣いや言い回しに慣れ、古文に親しむ態度を養わせる。 ・古語の意味を理解し、話の面白さの要点はどこにあるか考えさせる。	・音読し、歴史的仮名遣いの表記の読み方に慣れる。 ・かぐや姫や翁の行動や心情がどのように表れているのかを読み取り、登場人物の人間性をつかむ。
7月 配当時間 6時間	・漢文 苛政猛於虎也 ・漢文 塞翁馬	・まとまった文章を読む力を養い、訓読法に習熟させる。 ・漢文の簡潔な表現の中に、深い含意がかくされていることを理解させる。	・繰り返し音読し、漢文の口調に慣れ、漢文特有の簡潔で力強い表現を理解する。 ・儒家の政治や固定的な価値観を排する知恵を読み取る。 (前期試験・4～7月分)
9月 配当時間 6時間	・現代文 コインは円形である	・評論の読み解き方について理解させる。	・「コインは円形である」という表現が結論とどう結びつくかを読み取る。
後期 10月 配当時間 7時間	・詩 道程 ・詩 汚れちまった悲しみに……	・詩の読み解き方について理解させる。	・音読によって、散文とは異なる詩的表現の持つ韻律に親しむ。 ・詩の構成と主題をとらえる。
11月 配当時間 7時間	・現代文 不安をより強く生きる力とするために	・評論の読み解き方について理解させる。	・筆者が現代社会をどうとらえているかを踏まえ、筆者が主張するように、「不安」を肯定し、それを「より強く生きる力」とするとは、どういうことなのか的確に読み解く。 (後期中間試験・9～11月分)
12月 配当時間 7時間	・古文 徒然草 つれづれなるままに 丹波に出雲といふ所あり	・古文から現代文にまで通じる随筆の特色をその冒頭から学ぶ。 ・多様な助詞、助動詞について古典文法を整理し、身につけさせる。	・無常観の内容について、時代背景をふまえてとらえさせる。 ・話の展開の妙と結末のつけ方を味わう。
1月 配当時間 6時間	・古文 伊勢物語 東下り	・歌物語の面白さを味わい、今日の生活においても共通している感覚を理解させる。	・内容を理解し、歌物語の特徴を捉える。 ・物語としての主人公たちの姿を読み取る。
2月 配当時間 6時間	・漢文 論語	・まとまった文章を読む力を養い、訓読法に習熟させる。 ・漢文の簡潔な表現の中に、深い含意がかくされていることを理解させる。	・学ぶことの喜び、学ぶことによる人間形成、学ぶことと考えることなど、孔子の学問観を理解させる。
3月 配当時間 6時間	・漢文 論語	・まとまった文章を読む力を養い、訓読法に習熟させる。 ・漢文の簡潔な表現の中に、深い含意がかくされていることを理解させる。	・学ぶことの喜び、学ぶことによる人間形成、学ぶことと考えることなど、孔子の学問観を理解させる。 (後期期末試験・12～3月分)